

# デンタルプレスケールⅡ

咬合力測定システム用フィルム

GC



保険適用

# 咬合力測定システム用フィルム「デンタルプレスケールⅡ」&咬合力分析ソフト「バイトフォース アナライザ」は、咬合力を可視化し、客観的に把握することができる咬合力分析システムです。

スクリーニング検査

術前・術後比較

経過観察

咀嚼機能の維持・改善を図るためには咀嚼能力を検査し、評価することが大切です。

食べ物を「噛める」「噛めない」ということは、必要な咬合力が発揮されているか否かである、とされています。

天然歯あるいは人工歯の咬合面に発現する咬合力は、力を発現する側の筋機能の問題と、

その力を受ける側の歯、歯根膜（義歯、粘膜）、さらには咬合が関係しています。

ジーシーの咬合力分析システムは、咀嚼機能の根源である咬合力を、

患者さんへの負担も少なく、簡便・短時間で

測定することができるシステムです。

参考資料：臨床咬合学事典 医歯薬出版株式会社 2008年5月20日発行

約3秒  
噛みしめる  
だけ!



デンタルプレスケールⅡを噛み  
スキャナで読み取れば  
手軽に可視化できます



\*コンピュータ、スキャナは付属しません。

咬合力測定システム用フィルム

## デンタルプレスケールⅡ

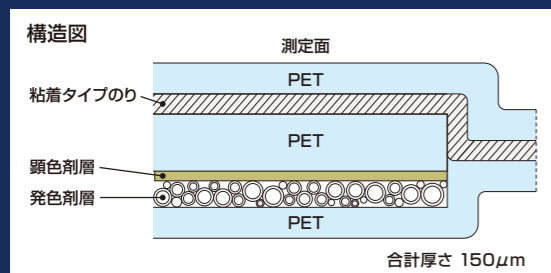
### 「ギュッ」と咬むだけ 簡単検査

デンタルプレスケールⅡは、歯科用に設計した感圧シートを使用し、

10～120MPaの幅広い帯域で咬合圧を測定可能。

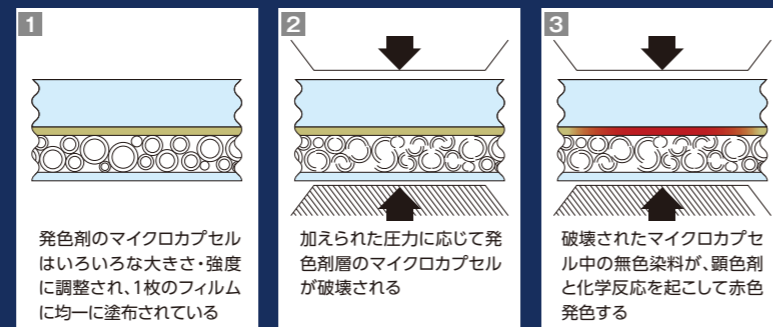
患者さんの負担も少なく簡単に検査が行えます。

#### ■ デンタルプレスケールⅡの内部構造

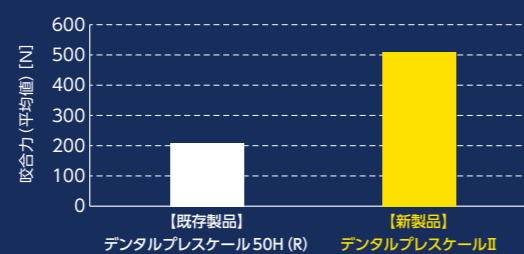


デンタルプレスケールⅡは、PETフィルムの支持体に顕色剤を塗布し、両面を極薄層のPETフィルムでラッピングしています。

#### ■ 発色する仕組み (イメージ)



#### ■ 咬合力値の比較



考察：デンタルプレスケールⅡは、既存製品と比較して感圧シートの厚みが増したことから、より広い咬合近接域に圧力がかかり発色面積値の増加及び、それに伴い咬合力値が高く表示されます。

調査対象者：279名 (24～94歳)

\*咬合力低下の疑いのある患者

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 対象者 総数           | 279名        |
| 男性               | 104名        |
| 女性               | 175名        |
| 総義歯使用者 (全体からの割合) | 84名 (30.1%) |
| 平均年齢             | 71.1歳       |

\*株式会社ジーシー 調査データ  
\*グラフは対象者の平均値

咬合力分析ソフト

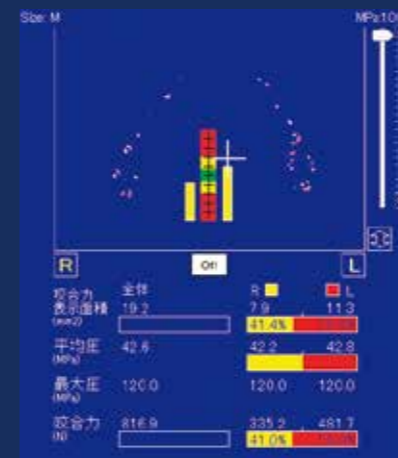
## バイトフォース アナライザ

### 多彩な表示機能により力の状態をビジュアルとデータで把握

読み取ったデータは咬む力の強さやバランスがひと目で確認ができ、多角的に解析が行えます。また患者さんごとに検査情報を

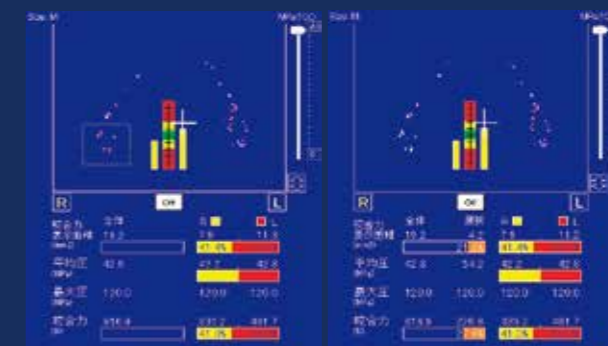
管理することで、経過観察をスピーディに比較できます。患者さんにもわかりやすい“コミュニケーション”画面表示も可能です。

#### ■ フォースバランス



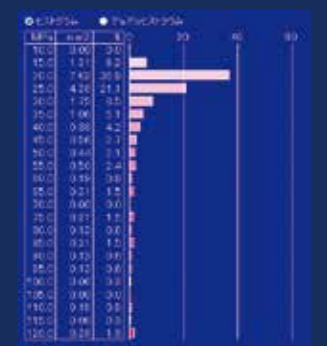
バイトフォース アナライザの基本画面です。咬合力が発現した部位と、咬合力、咬合力表示面積、最大圧、平均圧、重心の位置やバランスなどを数値とビジュアルで表示します。

#### ■ クローズアップ



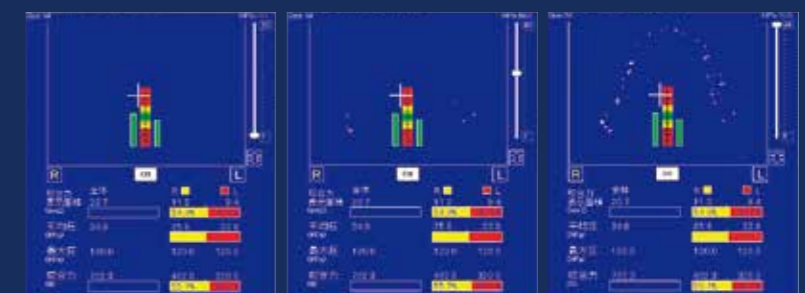
マウスをドラッグして囲むだけで、注目したい部位の、咬合力、咬合力表示面積、平均圧等を抽出し表示します。また、咬合力、咬合力表示面積の全体の値に対する割合も表示します。

#### ■ ヒストグラム



5MPaごとの圧力域に分けた咬合力表示面積とその割合をバーグラフで表示します。

#### ■ アニメーション



最小圧力から順次最大へ、またはその逆を動的に表示します。圧力ごとの出現部位をひと目で把握することができます。

# デンタルプレスケールⅡ



動画による  
製品説明はこちら



サイズ●3種=S、M、L

包装●1函:40枚入

デンタルプレスケールⅡ 一般医療機器 特定保守管理医療機器 13B1X00155000295

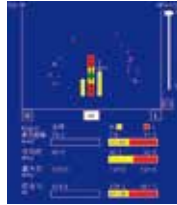
**再使用禁止**

咬合力分析ソフト

## バイトフォース アナライジングセット



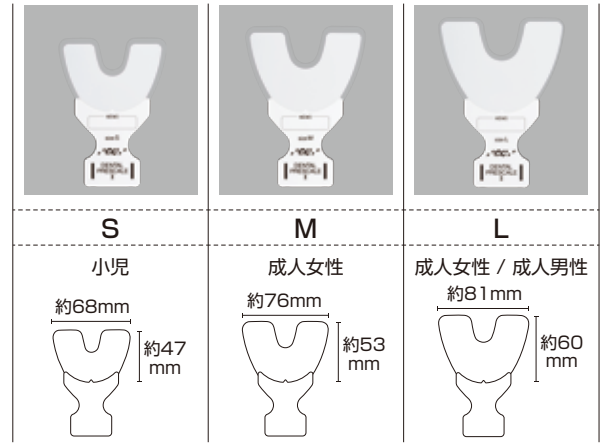
■バイトフォース アナライザ(ソフトウェア)動作環境  
OS:Windows 7/8/8.1/10(各OS 32/64Bit版)  
プログラム:Microsoft .Net Framework 4.0以上必須  
CPU:Intel i3以降  
メモリー:2GB以上  
ディスプレイ:最低解像度 800×600以上  
USBポート(2ヶ):USB1.1/2.0/3.0  
CD-ROMドライブ  
※上記動作環境を満たしていても、全てのコンピュータでの動作を保証するものではありません。



包装●バイトフォース アナライザソフトウェアCD 1枚、ライセンスドングル1個、キャリブレーションシート 1枚、位置決めテンプレート 1枚、'デンタルプレスケールⅡの咬ませ方'マニュアル

※使用するコンピュータにはバイトフォース アナライザソフトウェアのインストール及びスキャナ接続設定が必要になります。インストール設定作業は弊社では行いませんので、予めご了承ください。  
※デンタルプレスケールⅡはオクルーザー(703,705,707,709)で読み込むことはできません。  
※既存製品のデンタルプレスケールは本製品のバイトフォース アナライザ(ソフトウェア)・弊社指定のスキャナシステムで読み込むことはできません。

### ■ サイズ [目安]



咬合力分析システム

### デンタルプレスケールⅡ 咬合圧検査 スターターキット

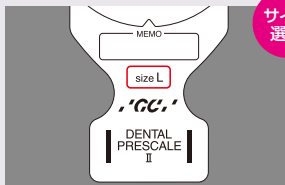
包装●デンタルプレスケールⅡ(サイズM、L×各1函)、バイトフォースアナライジングセット

デンタルプレスケールⅡ読み取り用スキャナ



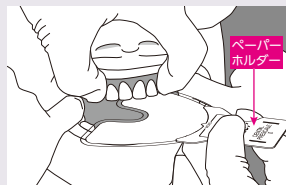
弊社ではお取り扱いしておりません。ジーシーホームページ「製品カタログ」ページにて弊社指定のスキャナをご確認の上、別途お求めください。(弊社が指定するスキャナ以外は使用することができません)

### ■ 検査の主な流れとポイント



サイズ  
選択

1 模型と合わせたり被蓋関係を確認するなどし、適切なサイズをS、M、Lから選択します。



ペーパー  
ホルダー

2 歯列全体がフィルムに納まるようにデンタルプレスケールⅡを口腔内へ挿入します。

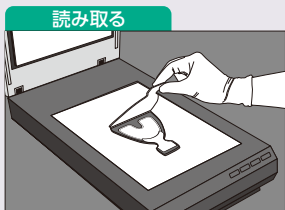


約3秒

3 デンタルプレスケールⅡを約3秒間咬み締めてもらいます。



4 プレスケールシートに付いた唾液をやさしく拭き取り、消毒用エタノール等で清拭消毒します。



読み取る

5 位置決めテンプレートとデンタルプレスケールⅡをスキャナにセットし、読み込みます。

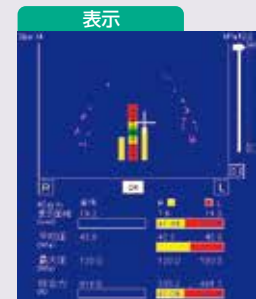


新規読込

アイコンを  
クリック



6 不要な外形をトリミングし、咬んで発色した部位を抽出します。



表示

7 咬合力等の解析結果が表示されます。

※掲載のジーシー測定参考データは、2019年7月現在のものです。  
※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。

ご使用に際しましては、必ず製品の添付文書をお読みください。

発売元 株式会社 ジーシー / 製造販売元 株式会社 ジーシー  
東京都文京区本郷3丁目2番14号 東京都板橋区蓮沼町76番1号

DIC(デンタルインフォメーションセンター)  
お客様窓口 ☎0120-416480  
受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祝日を除く)  
<http://www.gcdental.co.jp>

支店  
●東京(03)3813-5751 ●大阪(06)4790-7333  
営業所  
●北海道(011)729-2130 ●名古屋(052)757-5722  
●東北(022)207-3370 ●九州(092)441-1286